令和元年 10 月 11 日

平成 30 年度決算特別委員会

公営企業会計決算概要説明資料

企　業　庁

目　　次

ページ

1　収益的収支の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

2　資本的収支の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

3　未処分利益剰余金の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

1　収益的収支の状況

（単位　千円）

会　計　名	区　分	平成30年度 決　算　額 (A)	平成29年度 決　算　額 (B)	対前年増減 (A)-(B)
水道事業会計	収　入	59,798,432	59,983,512	△185,080
	支　出	52,298,613	52,217,472	81,140
	当年度損益	6,301,489	6,699,049	△397,559
電気事業会計	収　入	8,794,534	8,500,585	293,948
	支　出	7,825,142	7,785,643	39,498
	当年度損益	899,419	430,580	468,839
公営企業資金等運用事業会計	収　入	1,622,998	1,108,915	514,083
	支　出	700,086	796,460	△96,373
	当年度損益	930,416	318,739	611,677
相模川総合開発共同事業会計	収　入	1,553,595	1,640,816	△87,220
	支　出	1,553,631	1,640,816	△87,184
	当年度損益	0	0	0
酒匂川総合開発事業会計	収　入	1,259,228	1,181,534	77,693
	支　出	1,259,228	1,181,534	77,693
	当年度損益	0	0	0
合　計	収　入	73,028,788	72,415,363	613,424
	支　出	63,636,701	63,621,927	14,774
	当年度損益	8,131,326	7,448,369	682,956

※当年度損益は、資本的収支に係る消費税等の調整を行うため、収入決算額から支出決算額を差し引いた額と一致しない。

2　資本的収支の状況

（単位　千円）

会計名	区分	平成30年度決算額(A)	平成29年度決算額(B)	対前年増減(A)-(B)	平成30年度の補塡財源の内容
水道事業会計	収入	8,825,553	10,179,598	△1,354,045	当年度分消費税 資本的収支調整額 1,197,092 過年度分損益勘定留保資金 11,132,397 当年度分損益勘定留保資金 9,152,154
	支出	30,307,197	28,450,526	1,856,671	
	補塡財源使用額	21,481,644	18,270,927	3,210,716	
電気事業会計	収入	12,917	－	12,917	過年度留保資金 141,884 減債積立金 754,663 中小水力発電開発改良積立金 100,000 過年度分消費税 資本的収支調整額 366,301 当年度分消費税 資本的収支調整額 69,971 過年度分損益勘定留保資金 10,334,406
	支出	11,780,144	4,636,567	7,143,577	
	補塡財源使用額	11,767,227	4,636,567	7,130,660	
公営企業資金等運用事業会計	収入	3,760,502	3,414,924	345,577	他会計繰出金 171,976 過年度留保資金 765,383
	支出	4,697,861	6,042,242	△1,344,380	
	補塡財源使用額	937,359	2,627,317	△1,689,957	
相模川総合開発共同事業会計	収入	244,783	451,441	△206,657	
	支出	244,748	451,441	△206,693	
	補塡財源使用額	－	－	－	
酒匂川総合開発事業会計	収入	362,745	310,523	52,222	
	支出	362,745	310,523	52,222	
	補塡財源使用額	－	－	－	
合計	収入	13,206,501	14,356,488	△1,149,986	
	支出	47,392,697	39,891,301	7,501,396	
	補塡財源使用額	34,186,231	25,534,813	8,651,418	

3　未処分利益剰余金の状況

（単位　千円）

会計名	前年度繰越利益剰余金 (A)	当年度中の増減 当年度損益 (B)	当年度中の増減 その他未処分利益剰余金変動額 (C)	当年度未処分利益剰余金 (D)=(A)+(B)+(C)	(D)のうち利益処分予定額(案) (E)	翌年度繰越利益剰余金 (F)=(D)−(E)
水道事業会計	89,954	6,301,489	―	6,391,443	6,356,000 ＜内訳＞ 減債積立金 320,000 建設改良積立金 6,036,000	35,443
電気事業会計	721,656	899,419	854,663	2,475,739	1,404,663 ＜内訳＞ 資本金への組入れ 854,663 減債積立金 450,000 建設改良積立金 100,000	1,071,076
公営企業資金等運用事業会計	553	930,416	―	930,970	930,842 ＜内訳＞ 利益積立金 758,000 他会計操出金 172,842	128

・資本金への組入れ・・・・・資本強化のための資本金への組入れ

・減債積立金・・・・・企業債償還の財源とするための積立金

・建設改良積立金・・・・・建設改良工事等の財源とするための積立金

・利益積立金・・・・・将来の欠損（赤字）に備えるための積立金

・他会計繰出金・・・・・水道事業会計への繰出金